

講義科目名称： 看護管理

授業コード： 2230100900

英文科目名称： Nursing Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員			
◎伊豆上智子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期 【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎伊豆上 智子 【研究室】 313</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 ○ 【DP2】 ◎ 【DP3】 ○ 【DP4】 ○ 【DP5】 ○ 【DP6】 ○ 【DP7】 ○</p>
------	---

到達目標	<p>1. 看護におけるマネジメントの概要を理解し、その活動過程を構成要素を示して説明する</p> <p>2. 看護職による看護ケアのマネジメントについて、看護職の機能と役割、看護職による安全管理の基本を説明する</p> <p>3. 看護組織による看護サービスのマネジメントの対象と範囲を理解し、看護サービス提供のためのしくみを説明する</p> <p>4. 看護サービスを提供する場を取り巻く諸制度について、看護のマネジメントにかかわる法令や政策を説明する</p>
------	--

授業概要	<p>看護の対象に目指す看護を効果的かつ効率的に提供するには、看護を提供するしくみを整えて活動し、活動の過程と結果を評価してよりよい活動ができるように継続して取り組むマネジメントが必要である。この科目では、看護の提供に必要なマネジメントの基本となる知識について、看護ケアと看護サービスの関係を考えながら学習する。また、看護サービスを提供する場を取り巻く諸制度について、既習の内容を踏まえながら看護のマネジメントとのかかわりを理解する。</p>
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護とマネジメント 学習内容：看護管理学とは、マネジメントとは、看護のマネジメントが行われる場、看護を提供する組織 備考：</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護制度と政策 学習内容：看護行政の組織、看護に関する政策過程、看護実践にかかわる政策的課題と動向、看護の基本となる法律 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：医療・介護制度と看護 学習内容：看護組織のマネジメントと医療・介護制度、日本の医療制度、日本の介護制度 備考：</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護ケアのマネジメント 学習内容：看護ケアのマネジメントにおける看護職の機能、ケアの実践と看護業務、情報の管理と活用 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護実践に必要なマネジメントスキル 学習内容：組織における個人と集団、チーム医療、日常業務のマネジメント 備考：</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護サービスのマネジメント 学習内容：看護サービス提供のしくみづくり、看護単位の機能と特徴、看護ケア提供システム、</p>
------	--

	<div>7</div> <div>看護サービスマネジメントの対象と範囲 備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護職と安全管理 学習内容：医療の安全と看護、看護職が行う安全管理、看護職の労働環境 備考：</div> <div>8</div> <div>授業内容 授業形態：対面 学習課題：医療・看護の質保証 学習内容：医療・看護とサービス、医療・看護サービスの評価、日本の医療・看護の質の評価と保証 備考：</div>
事前・事後学習	事前学習：学習内容を確認し，十分な準備をもって授業に臨むこと 事後学習：授業時の配付資料に示した必携図書の該当頁や参照資料を読み，関心を持った内容について資料を入手して学びを深めること
評価方法、評価基準	試験(100%)：期末試験として、到達目標1～4の達成度を評価する
必携図書	上泉和子，小山秀夫，笈淳夫，鄭佳紅(2024)：系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理(第11版)，医学書院
参考図書・資料等	必要に応じて適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻および途中退出は欠席として扱う 講義時に使用するプレゼンテーションファイルは配付しない 各回の講義時に配布した資料は、PDFファイル版を学習支援システム(どこカレ)上に公開する
教員からのメッセージ	看護の対象に質の高い看護を継続して提供するには、看護職一人ひとりが行うマネジメントと複数の看護職で構成される看護組織のマネジメントが欠かせません。看護の実践とマネジメントについて様々な視点から考えていきましょう。
オフィスアワー	